

2023年11月実施
第20回
農業簿記検定[®]
2級問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 標準原価計算は、原価の無駄を排除し、製品をより安く効率的に製造するという原価管理目的を大きな目的として実施されるものである。
2. 短期利益計画の策定のためには、原価を生産規模に応じて比例的に増減する変動費と常に一定額発生する固定費に分け、変動益（売上高）からまず変動費を差し引いて変動益（売上高）に比例する限界利益を計算する損益計算構造が適している。
3. 損益分岐点変動益（売上高）は、限界利益が固定費と一致する場合の変動益（売上高）である。
4. 原価・生産規模・利益関係の分析を行うためには、原価を変動費と固定費に分解する必要がある。原価分解の手法としては、勘定科目精査法、高低点法、スキャッター・チャート法、最小二乗法といったものが存在する。
5. 直接原価計算方式の損益計算書は、短期利益計画に役立つ原価と生産規模と利益の関係を明らかにすることができるため、外部公表用の公開財務諸表において直接原価計算方式の損益計算書が利用されることもある。

問題 2 以下の〔資料〕1～3の問題文に基づく仕訳が正しいものであるか判断しなさい。

〔資料〕

1. 材料（種苗）400 kgを@390円で仕入れた。なお、当該仕入に際して引取運賃4,000円が発生した。これらの発生額は、未払いのため買掛金勘定を用いて処理する。

借方勘定	金額（円）	貸方勘定	金額（円）
材 料	156,000	買 掛 金	160,000
引 取 運 賃	4,000		

2. 材料（種苗）300 kg（実際消費価格@400円）を直接材料として消費した。なお、当該材料は予定消費価格@420円を用いている。

借方勘定	金額（円）	貸方勘定	金額（円）
仕 掛 品	126,000	材 料	126,000

3. 上記2の材料（種苗）の消費に関して材料消費価格差異を算定した場合の仕訳は以下の通りである。

借方勘定	金額（円）	貸方勘定	金額（円）
材 料 消 費 価 格 差 異	6,000	材 料	6,000

【選択肢】正しい仕訳は「○」、誤っている仕訳は「×」で表す。

	資料1	資料2	資料3
1	×	×	×
2	×	×	○
3	×	○	×
4	×	○	○
5	○	×	○

問題 3 以下の〔資料〕に基づき、当月の直接経費と間接経費の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 当月農場全体の圃場管理費 180,000 円
2. 設備の年間減価償却費 480,000 円
3. 動力光熱費 当月支払額：140,000 円 当月測定額：135,000 円
4. ジャガイモに対する当月作業委託費 82,000 円
5. 種苗の当月棚卸減耗損 12,000 円
6. 半年分の地代賃借料 111,000 円

【選択肢】

	直接経費	間接経費
1	0 円	385,500 円
2	0 円	467,500 円
3	82,000 円	376,250 円
4	82,000 円	385,500 円
5	82,000 円	390,500 円

問題 4 以下の〔資料〕に基づき、①製造間接費を直接労務費基準によって実際配賦した場合のジャガイモの生産原価、②製造間接費を作業面積基準によって実際配賦した場合のタマネギの生産原価の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 生産指示書別の直接費および作業面積の内訳

	ジャガイモ	ピーマン	タマネギ
直接材料費	920,000 円	1,150,000 円	795,000 円
直接労務費	480,000 円	1,200,000 円	720,000 円
作業面積	600 m ²	525 m ²	375 m ²

2. 製造間接費実際発生額 3,240,000 円

【選択肢】

	①	②
1	648,000 円	810,000 円
2	1,296,000 円	810,000 円
3	2,048,000 円	2,325,000 円
4	2,048,000 円	2,487,000 円
5	2,696,000 円	2,325,000 円

問題 5 次の〔資料〕に基づき、(①) ~ (③) に入る金額として正しい組合せを一つ選びなさい。

〔資料〕 (単位：円)

種苗費	
買掛金	1,850,000
仕掛品	1,850,000

肥料費	
前期繰越	12,000
買掛金	485,000
	497,000
仕掛品	365,000
製造間接費	(?)
次期繰越	18,500
	497,000

貸金手当	
預り金	50,000
現金	450,000
未払費用	12,000
	512,000
未払費用	10,500
仕掛品	(?)
製造間接費	81,500
	512,000

製造間接費	
肥料費	(?)
貸金手当	81,500
減価償却費	320,000
	515,000
仕掛品	509,800
製造間接費差異	5,200
	515,000

仕掛品	
前期繰越	420,000
種苗費	(?)
肥料費	(?)
貸金手当	(?)
製造間接費	(?)
	(?)
製品	(?)
次期繰越	360,000
	(?)

製造原価報告書 (単位：円)

I 直接材料費	(①)
II 直接労務費	(②)
III 製造間接費	
実際発生額	(?)
製造間接費差異	(?)
当期総製造費用	(?)
期首仕掛品棚卸高	(?)
合計	(?)
期末仕掛品棚卸高	(?)
当期製品製造原価	(③)

【選択肢】

	①	②	③
1	1,850,000	81,500	3,204,800
2	1,850,000	420,000	3,204,800
3	2,215,000	81,500	3,204,800
4	2,215,000	420,000	3,144,800
5	2,215,000	420,000	3,204,800

問題 6 当社は素畜を工程の始点で投入し、飼育のうえ単一の肉用牛を連続的に出荷している。〔資料〕を参照して、期末仕掛品原価を示す正しい選択肢を一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 当期の生産データ

期首仕掛品	100 頭
当期投入	780 頭
計	880 頭
期末仕掛品	80 頭
完成品	800 頭

1 頭を出荷させるために要する飼育日数は平均して 90 日である。期首仕掛品であった家畜は 80 日の飼育日数が経過しており、期末仕掛品となった家畜は 36 日の飼育日数が経過している。なお、期末仕掛品の素畜費、加工費はすべて先入先出法の仮定によって計算している。

2. 当期の原価データ

	期首仕掛品原価	当期製造費用
素畜費	140,000 円	1,170,000 円
加工費	336,000 円	2,675,200 円

【選択肢】

1	115,200 円
2	120,000 円
3	235,200 円
4	394,379 円
5	476,000 円

問題 7 **問題 6** の〔資料〕に基づき、完成品総合原価を示す選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1	1,190,000 円
2	2,896,000 円
3	3,808,000 円
4	4,086,000 円
5	4,096,000 円

問題 8 当社は畜産農業を営んでおり、標準原価計算を採用している。以下の〔資料〕に基づき、完成品原価と直接材料費の価格差異の正しい組み合わせを一つ選びなさい。なお、素畜は始点で投入している。

〔資料〕

1. 標準原価カード（畜産物 1 頭当たり）

	単価	消費量	原価標準
素 畜 費	1,800 円/頭	1 頭	1,800 円
直接労務費	500 円/時間	0.5 h/日×90 日	22,500 円
製造間接費			12,000 円
			36,300 円

2. 当期生産データ

期首仕掛品	150 頭
当期投入	550 頭
計	700 頭
期末仕掛品	200 頭
完成品	500 頭

3. 1 頭の畜産物を出荷できる状態にするためには平均 90 日の飼育日数を要する。期首仕掛品となった家畜は期首の段階で 72 日の飼育日数が経過している。また、期末仕掛品となった家畜は期末段階で 36 日の飼育日数が経過している。

4. 当期原価実績

素畜費（直接材料費） 1,014,200 円（実際消費量 550 頭）

【選択肢】

	完成品原価	価格差異
1	900,000 円	24,200 円（不利差異）
2	7,260,000 円	24,200 円（不利差異）
3	7,260,000 円	24,200 円（有利差異）
4	18,150,000 円	24,200 円（不利差異）
5	18,150,000 円	24,200 円（有利差異）

問題 9 当社は畜産農業を営む企業であり、直接原価計算方式による損益計算書を作成している。以下の〔資料〕に基づき、直接原価計算方式による損益計算書の空欄（①）（②）に入る金額の正しい組合せの選択肢の一つを選びなさい。

〔資料〕

1. 生産・販売データ

期首仕掛品	0頭	期首製品	0頭
当期投入	1,200頭	完成品	1,200頭
計	1,200頭	計	1,200頭
期末仕掛品	0頭	期末製品	0頭
完成品	1,200頭	当期販売品	1,200頭

家畜を出荷できるようにするために平均して100日の飼育日数を要する。

2. 製造原価データ

	当期製造費用
素畜費	1,040,000円
変動加工費	3,250,000円
固定加工費	3,900,000円

3. 直接原価計算方式による損益計算書（単位：円）

I 変動益		8,500,000
II 変動売上原価		
1. 期首製品棚卸高	0	
2. 当期製品製造原価	(?)	
合計	(?)	
3. 期末製品棚卸高	0	(?)
限界利益		(①)
III 固定費		
1. 加工費	(②)	
2. 販管費	250,000	(?)
営業利益		(?)

【選択肢】

	①	②
1	60,000	1,040,000
2	60,000	3,900,000
3	4,210,000	1,040,000
4	4,210,000	3,250,000
5	4,210,000	3,900,000

問題 10

伝票会計に関する次の A～E の記述の中に、誤っているものが二つある。その誤っている記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

- A. 伝票とは、証憑書類に基づいて仕訳を記入し、仕訳帳への転記のための資料となる紙片をいう。
- B. 3 伝票制とは、入金伝票、出金伝票および振替伝票の 3 種類の伝票を用いて記録を行う制度をいう。
- C. 入金伝票に記載された取引を勘定口座に転記するとき、現金勘定の借方へ転記し、科目欄に記入された勘定の貸方へ転記する。
- D. 3 伝票制を採用している場合において、買掛金につき小切手を振り出して支払った場合に起票する伝票は、出金伝票である。
- E. 3 伝票制を採用している場合において、振替伝票は、現金の入金取引及び出金取引以外の取引の場合に起票する伝票であるから、仕訳上の借方科目または貸方科目のいずれも、現金と記載されることは絶対にない。

【選択肢】

1. A, B 2. A, D 3. B, C 4. B, E 5. D, E

問題 11

にちび牧場は、年 1 回 12 月末決算の法人である。にちび牧場における次の一連の資料に基づき、×4 年 12 月 31 日における生物勘定（搾乳牛（No.27）に関する金額）の帳簿価額として、正しいものの番号を一つ選びなさい。

- (1) ×1 年 4 月 1 日に出生した牛を、搾乳牛（No.27）として育成を開始した。×1 年度における当該搾乳牛（No.27）の育成に要した費用は 270,000 円であった。
- (2) ×2 年度における搾乳牛（No.27）の育成に要した費用は 330,000 円であった。
- (3) 搾乳牛（No.27）が成熟したため、×3 年度期首に、これまでの育成費用累計額を生物勘定に振り替えた。当該振替額は、今後、定額法（耐用年数 4 年、償却率 0.250）により減価償却を直接法により行うこととした。

【選択肢】

- 1. 270,000
- 2. 300,000
- 3. 330,000
- 4. 400,000
- 5. 450,000

問題 12

固定資産に関する次のア～オの記述の中に、誤っているものが二つある。その誤っている記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

- ア 貸借対照表に計上する固定資産は、有形固定資産・無形固定資産・投資その他の資産の3つに区分して表示される。
- イ 有形固定資産の建設を依頼し、手付金などを支払った場合には、「建設仮勘定」の借方に記帳しておき、引き渡しを受けた時点で、有形固定資産の勘定に振り替える。
- ウ 生物とは、農業用の減価償却資産である生物をいう。具体例としては、乳牛や繁殖用和牛などの家畜や、ミカン、カキ、茶などの永年作物があげられる。
- エ 生物を育成し、育成費用を支払った場合の借方勘定科目は、肥料費勘定や飼料費勘定などを用いずに、育成費振替高勘定を用いて記帳（仕訳）する。
- オ 無形固定資産は、有形固定資産と異なり、有形物としての実態を持たないものであるため、減価償却をおこなわない。

【選択肢】

1. ア エ 2. イ ウ 3. イ オ 4. ウ オ 5. エ オ

問題 13

次の所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する資料に基づいて、借手におけるリース債務の返済スケジュール表のうち①～③の金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、計算上生じる端数は千円未満を四捨五入し、過不足は最終年度の利息で調整すること（決算年1回、決算日3月31日）。

1. 所有権移転条項：なし
2. 解約不能のリース期間：4年
3. リース取引開始日：X1年4月1日
4. リース料：月額544,500円（各年度末に1年分を現金で支払う） 年額6,534千円
5. 貸手の購入価額：24,000千円（借手においても明らかである）
6. 貸手の計算利率：3.5%（借手においても明らかである）
7. リース物件（備品）の経済的耐用年数：5年

リース債務の返済スケジュール表

(単位：千円)

支払日	期首元本	支払額			期末元本
		元本償還額	利息相当額	合計額	
X2年3月31日	24,000	()	()	()	(①)
X3年3月31日	()	()	()	()	(②)
X4年3月31日	()	()	()	()	(③)
X5年3月31日	()	()	()	()	—
合計	—	()	()	()	—

【選択肢】

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. ① 18,000 | ② 12,096 | ③ 5,985 |
| 2. ① 18,306 | ② 12,143 | ③ 6,313 |
| 3. ① 18,306 | ② 12,413 | ③ 6,313 |
| 4. ① 18,306 | ② 12,413 | ③ 6,331 |
| 5. ① 18,360 | ② 12,431 | ③ 6,331 |

問題 14

次の記述は、「勘定科目の名称→損益計算書の表示」という形式で順不同で並べたものであるが、一つだけ誤っているものがある。その誤っているものの番号を一つ選びなさい。

- ① 作付助成収入勘定 → 営業外収益の区分に表示
- ② 経営安定補填収入勘定 → 特別利益の区分に表示
- ③ 生物売却収入勘定 → 特別利益の区分に表示
- ④ 価格補填収入勘定 → 営業収益（売上高）の区分に表示
- ⑤ 保険差益勘定 → 特別利益の区分に表示

【選択肢】

- 1. ①
- 2. ②
- 3. ③
- 4. ④
- 5. ⑤

問題 15

下記の記述の空欄①～③にあてはまる用語または金額の組み合わせとして最も適切なものの番号を一つ選びなさい。

国庫補助金とは、固定資産の取得のために、国または地方公共団体から交付された補助金である。国庫補助金を受領した場合、その受領額は、損益計算書の（ ① ）の区分に『国庫補助金収入』という表示科目を用いて計上する。

国庫補助金等で取得した固定資産については、圧縮記帳を行うことが認められている。圧縮記帳とは、国庫補助金等で取得した固定資産の取得原価から、国庫補助金等に相当する金額を控除する方法をいう。

圧縮記帳の会計処理については、（ ② ）と 積立金方式 の2種類がある。例えば、機械装置を取得するため、400,000 円の国庫補助金の交付を受け、これを充当して 900,000 円の機械装置を購入した場合、（ ② ）によって会計処理を行うと、『国庫補助金収入』400,000 円が計上されるとともに、『固定資産圧縮損』（ ? ）円が計上される。その結果、当該機械装置の金額（減価償却考慮前）は（ ③ ）円となる。

【選択肢】

- | | | | |
|----|--------|---------|----------|
| 1. | ①特別利益 | ②直接減額方式 | ③400,000 |
| 2. | ①特別利益 | ②準備金方式 | ③500,000 |
| 3. | ①特別利益 | ②直接減額方式 | ③500,000 |
| 4. | ①営業外収益 | ②準備金方式 | ③500,000 |
| 5. | ①営業外収益 | ②直接減額方式 | ③400,000 |

問題 16

日本ビジネス農事組合法人（決算年1回：12月31日）は、X4年度の決算について、X5年2月23日の総会において、以下の〔資料〕に示すとおり剰余金の処分が承認された。なお、X4年12月31日において、従事分量配当金として5,000,000円の仮払いを行っている。以上に基づいて、剰余金の処分に係る正しい仕訳を示しているものの番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

剰 余 金 処 分 案

自 X4年1月1日

至 X4年12月31日

(単位：円)

I 当期末処分剰余金			
当期剰余金		11,222,000	
前期繰越剰余金		345,000	
		<hr/>	11,567,000
II 剰余金処分額			
利益準備金		1,500,000	
任意積立金			
農業経営基盤強化準備金	2,000,000		
	<hr/>	2,000,000	
配当金			
事業分量配当金	500,000		
従事分量配当金	5,000,000	5,500,000	9,000,000
	<hr/>	<hr/>	<hr/>
III 次期繰越剰余金			2,567,000
			<hr/> <hr/>

【選択肢】

- | | | | | | | |
|----|-----|---------|-----------|-----|-------------|-----------|
| 1. | (借) | 繰越利益剰余金 | 9,000,000 | (貸) | 利 益 準 備 金 | 1,500,000 |
| | | | | | 農業経営基盤強化準備金 | 2,000,000 |
| | | | | | 未 払 配 当 金 | 5,500,000 |
| 2. | (借) | 繰越利益剰余金 | 9,000,000 | (貸) | 利 益 準 備 金 | 1,500,000 |
| | | | | | 農業経営基盤強化準備金 | 2,000,000 |
| | | | | | 仮 払 配 当 金 | 500,000 |
| | | | | | 未 払 配 当 金 | 5,000,000 |

3.	(借)	当期末処分剰余金	9,000,000	(貸)	利益準備金	1,500,000
					農業経営基盤強化準備金	2,000,000
					未払配当金	500,000
					仮払配当金	5,000,000
4.	(借)	繰越利益剰余金	9,000,000	(貸)	利益準備金	1,500,000
					農業経営基盤強化準備金	2,000,000
					仮払配当金	5,500,000
5.	(借)	繰越利益剰余金	9,000,000	(貸)	利益準備金	1,500,000
					農業経営基盤強化準備金	2,000,000
					未払配当金	500,000
					仮払配当金	5,000,000

問題 17

ニチビ農業株式会社（以下、当社）は、新品目の農作物の導入決定を機に、収入保険に加入することとした。次の一連の取引の仕訳のうち、①～③にあてはまる勘定科目または金額（仕訳の金額単位：円）の組み合わせとして最も適切なものの番号を一つ選びなさい。

1. 当社の X1 期中に、保険料 62,400 円、積立金 180,000 円、付加保険料 17,600 円、合計 260,000 円について、普通預金口座から支払った。なお、支払い時には、保険料及び付加保険料につき共済掛金勘定を用いて処理する。

(借) 共 済 掛 金 (①) (貸) 普 通 預 金 260,000
(②) ()

2. X1 期の決算日において、上記 1. で計上した共済掛金につき、前払費用勘定に振り替えた。

(借) 前 払 費 用 (①) (貸) 共 済 掛 金 (①)

3. X2 期の期首において、上記 2. に関する再振替仕訳を行った。

(借) 共 済 掛 金 (①) (貸) 前 払 費 用 (①)

4. X2 期につき、基準収入に対して 30%の減収となった。そこで、収入保険の保険金等の受領見込額を見積計算したところ、その額は 1,260,000 円（内訳：収入保険の保険金 720,000 円、国庫補助相当分の特約補填金 540,000 円）となった。

(借) 未 決 算 1,260,000 (貸) (③) 1,260,000

5. 本日、収入保険の保険金等の請求手続を行った。

(借) 未 収 入 金 1,260,000 (貸) 未 決 算 1,260,000

6. 上記 5. で請求した収入保険につき、保険金等 1,260,000 円（内訳：収入保険の保険金 720,000 円、国庫補助相当分の特約補填金 540,000 円）及び積立金の払戻金 180,000 円が普通預金口座に入金となった。

(借) 普 通 預 金 1,440,000 (貸) 未 収 入 金 1,260,000
(②) 180,000

【選択肢】

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. ①62,400 | ②経営保険積立金 | ③収入保険補填収入 |
| 2. ①80,000 | ②経営保険積立金 | ③経営安定補填収入 |
| 3. ①80,000 | ②経営保険積立金 | ③収入保険補填収入 |
| 4. ①62,400 | ②圧縮積立金 | ③経営安定補填収入 |
| 5. ①62,400 | ②圧縮積立金 | ③収入保険補填収入 |

問題 18～25

畜産業を営むN牧場株式会社（会計期間：R4年7月1日からR5年6月30日まで、以下、当社）に関する次の〔資料1〕〔資料2〕に基づいて、以下の設問に答えなさい。なお、当社は原価計算制度を採用していない。

〔資料1〕 決算整理前残高試算表

N牧場株式会社	R5年6月30日	(単位:円)
270,000	現金	
29,911,219	普通預金	
16,038,000	売掛金	
2,345,600	原材料	
34,567,890	仕掛品	
9,259,910	仮払消費税等	
12,000,000	機械装置	
1,500,000	器具備品	
4,257,634	生物	
	買掛金	16,632,000
	仮受消費税等	12,346,560
	仮受金	1,100,000
	長期借入金	31,450,680
	資本金	8,000,000
	繰越利益剰余金	25,814,740
	製品売上高	154,332,000
273,240	種苗費	
13,186,800	素畜費	
1,176,120	肥料費	
76,626,000	飼料費	
2,061,300	農薬費	
1,960,200	諸材料費	
5,800,000	賃金手当	
3,956,040	修繕費	
4,383,720	動力光熱費	
7,769,520	共済掛金	
5,800,000	賃借料	
6,800,000	役員報酬	
10,549,440	販売手数料	
	受取利息	2,920
	雑収入	1,600,000
786,267	支払利息	
251,278,900		251,278,900

[資料2] 決算整理事項等

(1) 棚卸資産の期末棚卸の状況は以下のとおりである。なお、棚卸資産の決算整理は、総額法による。

棚卸資産	総額
農薬	285,120 円
飼料	3,267,000 円
販売用家畜	37,422,000 円

(2) 機械装置F（取得価額：6,600,000 円、取得日：R4 年 10 月 5 日取得（計上済）、耐用年数：7 年、減価償却方法：償却率を 0.286 とする定率法）の取得を目的として受領した補助金について、仮受金に計上しているため、これを適切な勘定科目へ修正する。また、決算整理において、機械装置Fに関する圧縮記帳（補助金相当額）を、直接減額方式によって行う。なお、減価償却の記帳方法は、直接法とし、減価償却費の 1 円未満の端数が生じた場合には切捨てとする（以下についても同様）。

(3) 繁殖牛の売却に係る収入 1,600,000 円が雑収入に計上されているため、これを適切な勘定科目へ修正する。なお、売却した繁殖牛に係る情報は以下のとおりであるが、これに関する会計処理は未だ行われていなかったため、決算整理において行う。

期首時点における帳簿価額	1,230,000 円
期首時点から売却時点までの減価償却費相当額	307,500 円

(4) R4 年 12 月 26 日に繁殖牛（取得原価：634,000 円、期首時点における減価償却累計額：317,634 円、減価償却方法：償却率を 0.167 とする定額法）が病気により死亡していたが、これに関する会計処理は未だ行われていなかった。よって、以下の事実も踏まえて、決算整理において行う。

当該繁殖牛に対しては、共済契約を付していたため、ただちに共済金を請求したところ、R5 年 6 月 28 日に、298,732 円の共済金が支払われる旨の通知を受け取った（入金予定日：R5 年 8 月 31 日）。

(5) 当期に計上すべき減価償却費（すべて製造に関するもの）は、以下のとおりである。

【減価償却に関する資料】

固定資産	当期償却額
機械装置F（上記（2）参照）	（ア）
上記以外の機械装置	1,544,400 円
器具備品	300,000 円
売却した繁殖牛（上記（3）参照）	307,500 円
死亡した繁殖牛（上記（4）参照）	（イ）
上記以外の繁殖牛	788,000 円
合計	（各自推定）

(6) 消費税等の納付税額は、3,086,000 円と確定した。なお、清算差額については、適切に処理する。

(7) 法人税等の年税額は、3,457,769 円と確定した。

問題 18

上掲の〔資料2〕(5)に示された【減価償却に関する資料】の空欄(ア)と(イ)を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----|-----------|-----|---------|
| 1. | (ア) | 1,179,750 | (イ) | 52,939 |
| 2. | (ア) | 1,415,700 | (イ) | 53,045 |
| 3. | (ア) | 1,573,000 | (イ) | 53,045 |
| 4. | (ア) | 1,685,250 | (イ) | 105,878 |
| 5. | (ア) | 1,887,600 | (イ) | 105,878 |

製造原価報告書

N牧場株式会社

自 R4年7月1日 至 R5年6月30日

(単位：円)

I 材料費

()	()	
種	苗	費	273,240	
素	畜	費	13,186,800	
肥	料	費	1,176,120	
飼	料	費	76,626,000	
農	薬	費	2,061,300	
諸	材	料	費	1,960,200
計		()	

()	()	()
---	---	---	---	---	---

II 労務費

賃	金	手	当	()
---	---	---	---	---	---

III 経費

修	繕	費	3,956,040			
動	力	光	熱	費	4,383,720	
共	済	掛	金	7,769,520		
減	価	償	却	費	()
賃	借	料	5,800,000	()	

当	期	総	製	造	費	用	()
---	---	---	---	---	---	---	---	---

()	()
---	---	---	---

計	()
---	---	---

()	(ウ)
---	---	---	---	---

当	期	製	品	製	造	原	価	(エ)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題 19

上掲の製造原価報告書の空欄（ウ）と（エ）を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | | | |
|----|-----|------------|-----|-------------|
| 1. | (ウ) | 34,567,890 | (エ) | 122,096,445 |
| 2. | (ウ) | 34,567,890 | (エ) | 122,098,556 |
| 3. | (ウ) | 37,422,000 | (エ) | 123,100,667 |
| 4. | (ウ) | 37,422,000 | (エ) | 123,102,788 |
| 5. | (ウ) | 37,422,000 | (エ) | 123,104,899 |

損益計算書

	N牧場株式会社	自 R4 年 7 月 1 日 至 R5 年 6 月 30 日	(単位：円)
<hr/>			
I	売上高		
1.	製品売上高	154,332,000	
2.	(オ)	(カ)	()
II	売上原価		
1.	当期製品製造原価	()	
2.	(キ)	(ク)	()
	売上総利益		()
III	販売費及び一般管理費		
1.	役員報酬	6,800,000	
2.	販売手数料	10,549,440	()
	営業利益		()
IV	営業外収益		
1.	受取利息	2,920	
2.	(ケ)	()	()
V	営業外費用		
1.	支払利息		786,267
	経常利益		()
VI	特別利益		
1.	()	()	
2.	(コ)	35,305	()
VII	特別損失		
1.	()		()
	税引前当期純利益		()
	()		()
	当期純利益		()
<hr/> <hr/>			

問題 20

上掲の損益計算書の空欄（カ）を計算し、（オ）の表示科目と（カ）の金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

1. （オ）生物売却益 （カ） 677,500
2. （オ）生物売却益 （カ） 1,600,000
3. （オ）生物売却収入 （カ） 677,500
4. （オ）生物売却収入 （カ） 1,537,500
5. （オ）生物売却収入 （カ） 1,600,000

問題 21

上掲の損益計算書の空欄（ク）を計算し、（キ）の表示科目と（ク）の金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

1. （キ）生物売却損 （ク） 6,250
2. （キ）生物売却損 （ク） 677,500
3. （キ）生物売却原価 （ク） 677,000
4. （キ）生物売却原価 （ク） 922,500
5. （キ）生物製造原価 （ク） 922,500

問題 22

上掲の損益計算書の空欄（ケ）の表示科目として正しいものの番号を一つ選びなさい。

1. （ケ）雑収入
2. （ケ）保険差益
3. （ケ）価格補填収入
4. （ケ）固定資産売却益
5. （ケ）国庫補助金収入

問題 23

上掲の損益計算書の空欄（コ）の表示科目として正しいものの番号を一つ選びなさい。

1. （コ）雑収入
2. （コ）保険差益
3. （コ）固定資産売却益
4. （コ）国庫補助金収入
5. （コ）経営安定補填収入

貸借対照表

N牧場株式会社

R5年6月30日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金預金	30,181,219	1. 買掛金	16,632,000
2. 売掛金	16,038,000	2. 未払法人税等	()
3. 原材料	()	3. ()	()
4. 仕掛品	()		
5. (サ)	(シ)	流動負債合計	()
流動資産合計	()		
II 固定資産		II 固定負債	
1. 機械装置	()	1. 長期借入金	31,450,680
2. 器具備品	()	固定負債合計	31,450,680
3. 生物	()	負債合計	()
		純資産の部	
固定資産合計	()	I 株主資本	
		1. 資本金	8,000,000
		2. 利益剰余金	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	(ス)
		利益剰余金合計	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債・純資産合計	()

問題 24

上掲の貸借対照表の空欄 (サ) の表示科目と (シ) の金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

- | | | |
|----|-------------|---------------|
| 1. | (サ) 製 品 | (シ) 285,120 |
| 2. | (サ) 未 決 算 | (シ) 298,732 |
| 3. | (サ) 未収入金 | (シ) 298,732 |
| 4. | (サ) 未収収益 | (シ) 298,732 |
| 5. | (サ) 前払費用 | (シ) 285,120 |

問題 25

上掲の貸借対照表の空欄 (ス) を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

1. 25,814,740 2. 26,849,740 3. 36,146,740 4. 36,164,740 5. 39,314,740

